

Title: UHT granulites of the Highland Complex, Sri Lanka I: Geological and petrological background. Journal of Mineralogical and Petrological Sciences, 111-3, 145-156 (2016)

および

UHT granulites of the Highland Complex, Sri Lanka II: Geochronological constraints and implications for Gondwana correlation. Journal of Mineralogical and Petrological Sciences, 111-3, 157-169 (2016).

Authors: Yasuhito OSANAI, Krishnan SAJEEV, Nobuhiko NAKANO, Ipppei KITANO, Wilbert K.V. EHELPANNALA, Ryosuke KATO, Tatsuro ADACHI, Sanjeewa P.K. MALAVIARACHCHI

〔受賞者となる会員著者〕 小山内康人会員, 中野伸彦会員, 北野一平会員, 足立達朗会員

推薦理由:

これらの 2 編の連結した論文は、地質学、変成岩岩石学および年代学的手法を駆使して、スリランカのハイランド岩体の超高温変成作用の年代を決定し、ゴンドワナ超大陸における位置づけについて議論している。I では地質学および変成岩岩石学的手法を用いてハイランド岩体に産する複数の異なる岩相の超高温変成岩類の温度圧力条件を推定し、マダガスカル南部（ラヌツァラ剪断帯以南）、南インド（マドゥライ岩体北部及び南部・トリバンドラム岩体）、スリランカ（ハイランド岩体）、東南極リュツォ・ホルム岩体（スカーレングループ）の同様の岩相が示す温度圧力履歴と良い一致を示すことを示した。II では、これらの超高温変成岩類に含まれるジルコンの LA-ICP-MS による U-Pb 年代測定を行い、インヘリテッド・コアの年代値および 2 段階の変成年代（約 620-580 Ma および約 565-520 Ma）を明らかにした。こうして得られた変成条件および変成年代および原岩年代を、ゴンドワナ超大陸の構成メンバーと考えられている前出の地質体と比較し、これらがエディアカラ紀～カンブリア紀のゴンドワナ超大陸形成時に広域的な超高温変成作用を被った 1 つの変成帯であると提案したものである。このように、スリランカの超高温変成岩類の変成条件と年代決定にとどまらず、それをもとにゴンドワナ超大陸および分裂した大陸塊との地史的関係を総括的に議論した力作であり、日本鉱物科学会論文賞候補として推薦するにふさわしいと考えられる。

小山内康人会員の略歴



- 1981年 3月 新潟大学理学部地質鉱物学科卒業
- 1983年 3月 新潟大学大学院理学研究科地質鉱物学専攻修士課程修了
- 1986年 3月 北海道大学大学院理学研究科地質学鉱物学専攻博士課程修了(理学博士)
- 1986年 4月 日本学術振興会特別研究員
- 1986年 9月 第28次日本南極地域観測隊員
- 1988年 4月 福岡教育大学講師・教育学部
- 1989年 4月 福岡教育大学助教授・教育学部
- 1989年 7月 第31次日本南極地域観測隊員
- 1991年11月 ニューサウスウェールズ大学（豪）客員研究員
- 1997年 4月 岡山大学助教授・教育学部/大学院自然科学研究科
- 1997年 7月 第39次日本南極地域観測隊員
- 2004年 4月 九州大学教授・大学院比較社会文化研究院(現在に至る)
- 2007年 2月 第49次日本南極地域観測副隊長
- 2016年 4月 九州大学大学院比較社会文化研究院長
- 2018年 4月 九州大学副理事/共創学部長
- 2018年 9月 現在に至る

中野伸彦会員の略歴



2000年 3月 岡山大学教育学部卒業
2002年 9月 岡山大学大学院教育学研究科修了
2006年 3月 九州大学大学院比較社会文化学府修了 博士(理学)
2006年 4月 日本学術振興会特別研究員
2007年 1月 九州大学助手・大学院比較社会文化研究院
2007年 6月 第49次日本南極地域観測隊員
2007年10月 九州大学助教・大学院比較社会文化研究院
2015年10月 九州大学講師・大学院比較社会文化研究院
2018年 9月 現在に至る

北野一平会員の略歴



2012年 3月 九州大学理学部地球惑星科学科卒業
2014年 3月 九州大学大学院比較社会文化学府博士前期課程修了
2016年11月 第58次日本南極地域観測隊・同行者
2018年 3月 九州大学大学院地球社会統合科学府博士後期課程修了博士(理学)
2018年 4月 九州大学大学院比較社会文化研究院学術研究員
2018年 6月 第60次日本南極地域観測隊員
2018年 9月 現在に至る

足立達朗会員の略歴



2004年 3月 早稲田大学教育学部卒業
2006年 3月 早稲田大学大学院理工学研究科修了
2007年11月 第49次日本南極地域観測隊・同行者
2010年 3月 総合研究大学院大学複合科学研究科修了 博士(理学)
2010年 4月 九州大学学術研究員
2013年 5月 九州大学助教・アジア埋蔵文化財研究センター
2018年 9月 現在に至る